



全力疾走！

平成 29 年 1 月 15 日発行 VOL.18・19 合併号 発行者 宮城県議会議員 庄田圭佑

第 358 回定例会終了！予算総括質疑で知事と論戦交わす！

こんにちは。宮城県議会議員の庄田圭佑（しょうだ けいすけ）です。

昨年 11 月 25 日から 12 月 15 日まで開会された第 358 回定例会は、約 677 億に及ぶ補正予算案など 67 議案を可決し無事終了いたしました。

今議会では、昨年 3 月以来、2 度目の予算総括質疑に立ち、新人議員としては異例の 65 分の持ち時間を頂戴し、補正予算案に対する質疑をいたしました。また、昨年の初当選から毎議会必ず行っている議会質問も通算 5 回目となりました。

さて、今回の予算総括質疑（詳細は下表）では、主に、7 月に民営化された仙台空港の運用時間延長に係る調査費、地方創生推進に係る事業費、昨年の関東東北豪雨対策費、崖・のり面の土砂災害警戒区域指定に係る調査費について質問をさせていただきました。紙面の都合上詳細は割愛いたしますが、仙台空港の運用時間延長に係る調査費については、深夜時間帯に離発着する騒音を PC 上でシミュレーション

するというものでありました。これに対して、従来の騒音対策のみならず、A 滑走路（1200m）の延伸と計器着陸装置導入し、騒音対策のシミュレーションをしてはどうか。との提案もさせていただきました。残念ながら B 滑走路（3000m）の発着枠に余裕があること、水路との兼ね合いもあり、仮に延伸しても多額の費用が掛かるため、直ぐには難しいとの回答に留まりました。一方、空港活性化施策関連として提案した、ビジネスジェット機の積極誘致については、「LCC の次のステップでしっかりと取り組む」と知事より答弁を引き出しました。また、土砂災害警戒区域指定に係る調査費については、全国ワースト 2 位（昨年度調査）の土砂災害警戒区域指定率に留まっている状況を引き合いに、調査予算の拡充と平成 31 年度末の調査完了予定の前倒しを知事に強く要望致しました。なお、今回の調査は、県内 8482 箇所

予算総括質疑の内容

- 1 仙台空港活性化調査費について
- 2 地方創生推進費について
 - （1）地方創生インターンシップ費
 - （2）外国人留学生県内就職支援費
 - （3）外資系企業誘致促進費
 - （4）「みやぎの水産物」販路拡大費
- 3 災害に強い川づくり緊急対策費について
- 4 砂防・急傾斜基礎調査費について

の土砂災害危険箇所のうち約 250 箇所が対象で、今年度末では全体の 50% 約 4, 200 箇所が調査完了予定です。また、知事から「福祉施設等の周辺箇所を優先調査し、来年度中に区域指定を完了させたい」との答弁を引き出しました。余談ですが、警戒区域指定率はワースト 3 位となりました。

引き続き、宮城の発展に向けて全力疾走して参ります。どうか、皆様から忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

宮城県議会議員 **庄田圭佑**

常任委員会新委員と5つの調査特別委員会の設置が決まる！

第358回定例会より、常任委員会の委員改選に加え、1年毎に設置を決める調査特別委員会の設置と委員（議長・副議長、議員選出監査委員を除く55名が対象）が選任されました。

なお、特別委員会は来年11月定例会までが設置期間となります。設置された委員会は下記の通りです。また、構成委員は右表（紙面都合で一部委員会のみ）の通りです。

- 【継】大震災復興調査特別委員会
- 【新】地域防災調査特別委員会
- 【新】地域活力調査特別委員会
- 【継】いじめ・不登校等調査特別委員会
- 【新】総合観光戦略調査特別委員会

保健福祉委員会（9人）

所管事項：保健福祉部の分掌に関する事項

※医療福祉、高齢者・子育て等の諸施策に関する、県の事務に関する議案或いは陳情等の審査を行う

委員（◎は委員長、○は副委員長）

◎石川 利一	○天下みゆき	庄子 賢一	堺 恒春
大内 真理	庄田 圭佑	渡辺 勝幸	村上 智行
仁田 和廣			

総合観光調査特別委員会（10人）

調査事項：総合観光戦略に関する諸施策について

※インバウンド対策や広域観光、交流人口拡大等の調査・提言を行う

委員（◎は委員長、○は副委員長）

◎仁田 和廣	○菅間 進	坂下やすこ	佐々木功悦
三浦 一敏	横山のぼる	庄田 圭佑	菊地 恵一
石川光次郎	安藤 俊威		

補正予算約677億円の主な内容

今回組まれた補正予算は、国の補正予算に対応し、障害者支援施設の整備への助成やTPP対策としての農作業用機械・設備、ほ場の整備、三陸縦貫自動車道等の道路や河川の整備に要する経費のほか、昨年の関東・豪雨災害からの復旧に要する経費などが予算化されました。特に、昨年9月の豪雨災害の復旧工事は入札不調により遅れている一方で、水位観測局のテレメータ化を1年前倒して設置完了する等の対策が取られています。また、仙台空港運用時間延長に係る調査費、水産物の販路拡大など地方創生推進に係る経費が補正計上されました。なお、主な補正予算項目は下記の通りです。

【国の補正予算への対応】

障害者支援施設整備支援費	750,676 千円
災害に強い川づくり緊急対策費	456,750 千円
砂防・急傾斜基礎調査費	132,300 千円

【東日本大震災関連】

東北連携による外国人観光誘客促進費	35,000 千円
農山漁村地域復興基盤総合整備費	5,112,405 千円
仙台空港活性化調査費	30,000 千円

【その他】

県立社会福祉施設防犯対策費	17,600 千円
「みやぎの水産物」販路拡大費	36,600 千円

政務活動費の運用見直しに着手！

政務活動費の不適切支出により議長が2代続けて辞任した問題を受け、政務活動費の運用の在り方を検討する、「**運用検討会議**」が、12月15日に設置され、村上智行議員が座長に選任されました。現在、「政務活動の手引き」はありますが、会派によって解釈が分かれる事例などもあるため、議会統一で使用の見解をまとめ、中島議長に提出する予定です。一日も早く県民の皆様からの信頼を回復できるよう、県議会一丸となって取り組んで参ります。

（右写真は政務活動費に関する勉強会の様子）



ご自宅で県政座談会やりませんか？



皆様のご自宅をお借りし、ご近隣の皆様から県政課題を伺う、座談会を開催しております。ご自宅を会場に提供いただける方がいらっしゃれば、ご一報下さい。議会質問を通じて村井知事に皆様の声をお届け致します！

なお、次回議会は2月17日からスタート予定ですので、県政に対するご意見・ご要望等をしっかりとお届けいたしますので、是非お声がけください！！

県政へ一言！！～皆様からのご意見をお待ちしております！～ FAX 050-3737-4421

お名前

お電話

住所

県議会議員 庄田圭佑プロフィール

- 1984年（昭和59年）2月2日仙台生まれ泉区育ち。
- 明泉幼稚園、南中山小・中を経て、泉館山高等学校、宮城大学事業構想学部事業計画学科卒業。卒業後、(株)サンケイビル(フジ・メディアHD傘下)に入社し、都市開発事業に従事。その後、衆議院議員秋葉賢也秘書を務め、2015年10月宮城県議会議員に初当選。自由民主党・県民会議に所属。現在、経済商工観光委員、いじめ・不登校等調査特別委員。
- 先祖が白虎隊だった縁で「みやぎ会津会」所属 ●趣味:ジョギング、スポーツ観戦、旅行 ●特技:和太鼓、乗馬

庄田圭佑事務所 〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-5 TEL022-342-1041 FAX 050-3737-4421